

過去の奥尻町における珍魚・珍事の事例

(「広報おくしり」で過去に掲載された分のみ)

採捕した珍魚・珍事・特徴等	捕獲年月日	捕獲地区名	捕獲場所(海域)	捕獲者	捕獲者の職業	捕獲時の動向	分布・生息等	その後の処理
ウナギ 2匹 (今まで奥尻の河川でウナギは発見されていなかった)	昭和58年 8月5日	奥尻地区	塩釜川下流	観光客 (登別市)	不明	昼食後 散歩中	北海道以南の各地、朝鮮、北ベトナム、台湾、フィリピン	蒲焼で食べる
クロウシノシタ カレイ目ウシノシタ科、体長30cm、背が黒色、腹が白色、口の湾曲が特徴	昭和61年 11月27日	青苗地区	青苗港沖	羽立 定雄 (字青苗)	漁業	カレイ 刺し網	釧路、小樽以南、東シナ海、南シナ海など	標本
おおサルパ サルパ目サルパ科、透明でクラゲのようだが、クラゲより高等な原索動物	昭和61年 12月初旬	東風泊地区	東風泊海岸	水野 宏明 (字宮津)	漁業	タコ漁	世界各地の温水域・南方系	標本
白いムラゾイ フサカサゴ科 (通称ハチガラ) 体長31cm、重量590g、全身白色の魚体が釣り上げられたのは初めてで、突然変異と考えられた	昭和62年 6月30日	幌内地区	幌内海岸地先 (通称ゴゲザキ)	市川 博文 (字奥尻)	公務員 (自衛官)	磯・投げ 釣り	北海道南部以南の日本各地、朝鮮半島南部など	はく製
マトウダイ マトウダイ科、体長34cm、重量620g、全身暗灰色、一大黒色斑が特徴、高級料理に用いられる	昭和63年 11月15日	谷地地区	なべつる岩沖	佐々木与一 (字奥尻)	漁業	カレイ 刺し網	青森以南、太平洋、インド洋、オーストラリア、アフリカなどの南方系	はく製
ソデイカ 胴長70cmになる大きなイカ	平成2年 1月10日	谷地地区	なべつる岩沖	井川 兼 (字奥尻)	商業	船釣り	中国近海、地中海など	刺身で食べる

<p>カガミダイ マトウダイ科、全身美しい銀色、まるで鏡のようにキラキラ光っている</p>	平成13年 9月20日	谷地 地区	なべつる岩 付近	上野 弘安 (字球浦)	漁業	ヒラメ 釣り	富山以南、オーストラリア、ニュージーランド、ハワイ、シナ海、中・西部太平洋など南方系	標本
<p>白いアワビ オキナエビス目ミミガイ科エゾアワビ、殻長約8cm、色素異常で白くなり、アルビノ(先天性色素欠乏症)と呼ばれる</p>	平成16年 6月12日	湯浜 地区	美ノ歌とカシワラとの間	中村 敏男 (字球浦)	漁業	アワビ 漁	北海道の日本海沿岸、東北地方の太平洋沿岸だったが、現在は養殖等で全国に分布広がる	標本
<p>ダイナンアナゴ 体長1m55cm、重量10kg、「マアナゴ」の4倍にもなる巨大アナゴ、南方系の魚、食用には向かない</p>	平成16年 7月5日	神威 脇地区	神威脇沖 約500m西	大橋 正勝 (字青苗)	漁業	ホッケ 底建て網	神奈川県相模湾から九州・福岡県の博多までの南方系	専門誌 に紹介
<p>アカニシ貝 殻長17.5cm、重量1.1kg、大形でこぶし状、短いとげ状の角あり、殻口内は鮮やかな赤色、美味</p>	平成2年 5月15日	青苗 地区	青苗港横 (通称青苗の前浜)	吉田 信一 (字青苗)	漁業	潜水 作業中	青森以南、詳細不明	刺身で 食べる
<p>アカニシ貝 2個、アキガイ超科アキガイ科、殻長18cm、重量1.1kgと1.5kg、大形でこぶし状、殻口内は鮮やかなオレンジ色、美味</p>	平成17年 6月22日	東風 泊地区	東風泊海岸	粕谷 正元 (字宮津)	漁業兼 民宿業	エゾバ カ貝漁	北海道南部以南の日本近海が原産、浅海の砂泥底に生息、遠くは台湾、中国、紅海、アメリカ	不明

<p>スギ</p> <p>体長65 cm、重量1.65 kg、大型魚に随伴して遊泳する行動と形態上の類似からコバンザメの類縁とみられる</p>	<p>平成16年 7月28日</p>	<p>富里 地区</p>	<p>赤川付近 (通称青苗 の前浜)</p>	<p>竹田 彰 (字青苗)</p>	<p>公務員 (役場 職員)</p>	<p>磯・投げ 釣り</p>	<p>東部太平洋を 除く全世界の 温帯・熱帯海 域に生息、日 本では南日本 しか分布しな い南方系</p>	<p>不 明</p>
<p>ビワガニ</p> <p>甲殻類脚目短尾下目アサヒガニ科、甲長約6 cm、全身鮮やかなオレンジ色、右脚が1本長く先端が鋭い、食用には向かない</p>	<p>平成17年 2月16日</p>	<p>奥尻 地区</p>	<p>奥尻港沖</p>	<p>川尻 孝志 (字奥尻)</p>	<p>漁 業</p>	<p>カレイ 刺し網</p>	<p>秋田県男鹿半 島から千葉県 銚子以南、ア メリカのみ</p>	<p>不 明</p>